「日々の理科」（第 2279 号）　2020,10,-8

「火星大接近写真集（１）」

お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス＆エデュケーションセンター研究員
田中　千尋　Chihiro Tanaka

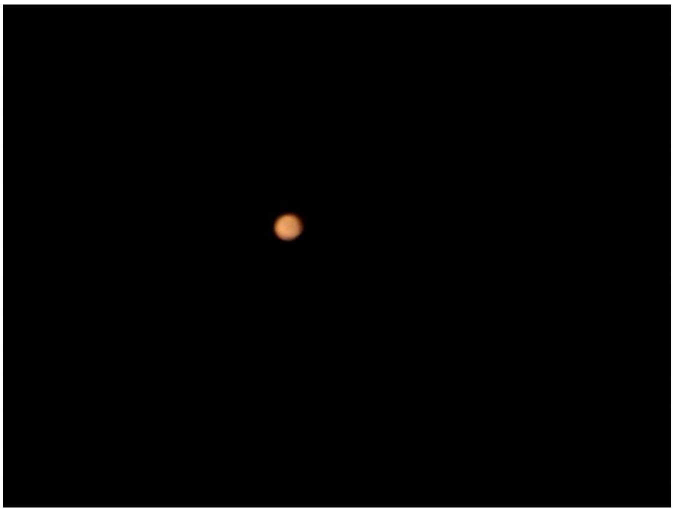
10 月 6 日の「地球と火星の大接近」は、関東地方では予報よりも天気が悪く、撮影は難しいと思われた。しかし、多くの読者の方から火星の写真が寄せられた。本当に感謝したいと思う。

【群馬県北軽井沢】これはネットワークカメラを遠隔操作して撮影したものである。この日の北軽井沢は 22 時頃まで完全に曇っていて、火星は絶望的と思われた。しかし 22 時 30 分頃から雲の切れ間が現れ、時々火星が見えた。

【吉祥寺近傍】月と火星を一緒に撮った傑作。写真の左が東。数日前には「月と火星の接近」が見られたが、月のほうが天球上の動きがわずかに遅いので、当日はこのようにかなり離れて見えた。いずれも太陽系天体なので、黄道（太陽の通り道）の近くに位置する。

【豊島区西巣鴨】これもスマホで撮って送ってくださった。少しピントが甘いが、その分火星の色がかすかにわかる写真だ。

【中央区月島】これも月と火星が対角線上に写っている。通勤中にスマホで撮って送ってくださった。



【高　知】これは友人のお子さんが四国から送ってくださった。わずかに火星の地形（地表の模様）までとらえている。相応の口径と解像度を持った望遠鏡で撮影したのだろう。すばらしい記録だ。